コンフィギュレーションのインポート/エクスポート

コンフィギュレーションのインポート/エクスポートについて

Firepower 4100/9300 シャーシの論理デバイスとプラットフォームのコンフィギュレーション設定を含むXMLファイルをリモートサーバまたはローカルコンピュータにエクスポートするコンフィギュレーションのエクスポート機能を使用できます。そのコンフィギュレーションファイルを後でインポートしてFirepower 4100/9300 シャーシに迅速にコンフィギュレーション設定を適用し、よくわかっている構成に戻したり、システム障害から回復させたりすることができます。

注意事項および制約事項

- FXOS 2.6.1から、暗号キーを設定できるようになりました。コンフィギュレーションをエクスポートする前に、暗号キーを設定する必要があります。エクスポートしたコンフィギュレーションをインポートするときには、システムに同じ暗号キーを設定する必要があります。エクスポート時に使用したものと一致しなくなるように暗号キーを変更した場合、インポート操作は失敗します。エクスポートした各コンフィギュレーションに使用した暗号キーを必ず記録しておいてください。
- コンフィギュレーション ファイルの内容は、修正しないでください。コンフィギュレーション ファイルが変更されると、そのファイルを使用するコンフィギュレーション インポートが失敗する可能性があります。

- 用途別のコンフィギュレーション設定は、コンフィギュレーションファイルに含まれていません。用途別の設定やコンフィギュレーションを管理するには、アプリケーションが提供するコンフィギュレーション バックアップ ツールを使用する必要があります。
- Firepower 4100/9300 シャーシへのコンフィギュレーションのインポート時、Firepower 4100/9300 シャーシのすべての既存のコンフィギュレーション（論理デバイスを含む）は削除され、インポートファイルに含まれるコンフィギュレーションに完全に置き換えられます。
- コンフィギュレーション ファイルのエクスポート元と同じ Firepower 4100/9300 シャーシだけにコンフィギュレーション ファイルをインポートすることをお勧めします。
- インポート先の Firepower 4100/9300 シャーシのプラットフォーム ソフトウェア バージョンは、エクスポートしたときと同じバージョンになるはずです。異なる場合は、インポート操作の成功は保証されません。シスコは、Firepower 4100/9300 シャーシをアップグレードしたりダウングレードしたりするたびにバックアップ設定をエクスポートすることを推奨します。
- インポート先の Firepower 4100/9300 シャーシでは、エクスポートしたときと同じスロットに同じネットワーク モジュールがインストールされている必要があります。
- インポート先の Firepower 4100/9300 シャーシでは、インポートするエクスポート ファイルに定義されているすべての論理デバイスに、正しいソフトウェア アプリケーション イメージがインストールされている必要があります。
- インポートするコンフィギュレーションファイルに、そのアプリケーションにエンドユーザ ライセンス契約書（EULA）がある論理デバイスが含まれていると、コンフィギュレーションをインポートする前に、そのアプリケーションの EULA が Firepower 4100/9300 シャーシで受け入れられている必要があります。受け入れられていない場合、操作は失敗します。
- 既存のバックアップ ファイルが上書きされるのを回避するには、バックアップ操作時にファイル名を変更するか、既存のファイルを別の場所にコピーしてください。

コンフィギュレーションのインポート/エクスポート用暗号キーの設定

コンフィギュレーションをエクスポートするときに、FXOS はパスワードやキーなどの機密データを暗号化します。

FXOS 2.6.1 から、暗号キーを設定できるようになりました。コンフィギュレーションをエクスポートする前に、暗号キーを設定する必要があります。エクスポートしたコンフィギュレーションをインポートするときには、システムに同じ暗号キーを設定する必要があります。エクスポート時に使用したものと一致しなくなるように暗号キーを変更した場合、インポート操作は失敗します。エクスポートした各コンフィギュレーションに使用した暗号キーを必ず記録しておいてください。

暗号キーは、[Export] ページまたは [Import] ページのいずれかで設定できます。ただし、一度設定すると、エクスポートとインポートの両方に同じキーが使用されます。

2.6.1 より前のリリースの FXOS からエクスポートしたコンフィギュレーションを FXOS 2.6.1 以降にインポートする場合、システムは暗号キーをチェックせずにインポートを許可します。

（注） インポート先のプラットフォームのソフトウェア バージョンが、エクスポート実行時と同じバージョンではない場合、インポート操作を正常に実行できる保証はありません。シスコは、Firepower 4100/9300 シャーシをアップグレードしたりダウングレードしたりするたびにバックアップ設定をエクスポートすることを推奨します。

手順

ステップ 1 **[System]** > **[Configuration]** > **[Export]** の順に選択します。

ステップ 2 [Encryption] で、機密データの暗号化/復号化に使用するキーを [Key] フィールドに入力します。暗号キーの長さは 4 ～ 40 文字である必要があります。

ステップ 3 [Save Key] をクリックします。

暗号キーが設定され、コンフィギュレーションのエクスポートおよびインポート時に機密データの暗号化/復号化に使用されます。[Key] フィールドの横に *Set: Yes* と表示され、暗号キーが設定されていることが示されます。

FXOS コンフィギュレーション ファイルのエクスポート

エクスポート設定機能を使用して、Firepower 4100/9300 シャーシの論理デバイスとプラットフォーム構成設定を含むXML ファイルをリモート サーバまたはローカル コンピュータにエクスポートします。

エクスポート機能の使用に関する重要な情報については、「コンフィギュレーションのインポート/エクスポートについて」を参照してください。

手順

ステップ 1 **[System]** > **[Configuration]** > **[Export]** の順に選択します。

ステップ 2 コンフィギュレーション ファイルをローカル コンピュータにエクスポートするには、[Export Locally] をクリックします。
コンフィギュレーション ファイルが作成され、ブラウザによって、ファイルがデフォルトのダウンロード場所に自動的にダウンロードされるか、またはファイルを保存するようプロンプトが表示されます。

ステップ 3 コンフィギュレーション ファイルを設定済みのリモート サーバにエクスポートするには、使用するリモート構成の [Export] をクリックします。
コンフィギュレーション ファイルが作成され、指定の場所にエクスポートされます。

ステップ 4 コンフィギュレーション ファイルを新しいリモート サーバにエクスポートするには、次の操作を行います。

a) [On-Demand Export] の下で、[Add On-Demand Configuration] をクリックします。
b) リモートサーバとの通信で使用するプロトコルを選択します。選択できるプロトコルは、FTP、TFTP、SCP、または SFTP のいずれかです。
c) バックアップ ファイルを格納する場所のホスト名または IP アドレスを入力します。サーバ、ストレージ アレイ、ローカル ドライブ、または Firepower 4100/9300 シャーシがネットワーク経由でアクセス可能な任意の読み取り/書き込みメディアなどを指定できます。

IP アドレスではなくホスト名を使用する場合、DNS サーバを設定する必要があります。

d) デフォルト以外のポートを使用する場合は、[Port] フィールドにポート番号を入力します。
e) リモート サーバにログインするためのユーザ名を入力します。プロトコルが TFTP の場合、このフィールドは適用されません。
f) リモート サーバのユーザ名のパスワードを入力します。プロトコルが TFTP の場合、このフィールドは適用されません。
g) [Location] フィールドに、ファイル名を含むコンフィギュレーション ファイルをエクスポートする場所のフルパスを入力します。ファイル名を省略すると、エクスポート手順によって、ファイルに名前が割り当てられます。
h) [OK] をクリックします。
リモート構成はオンデマンド エクスポート テーブルに追加されます。
i) 使用するリモート構成の [Export] をクリックします。
コンフィギュレーション ファイルが作成され、指定の場所にエクスポートされます。

自動設定エクスポートのスケジューリング

スケジュールされたエクスポート機能を使用して、Firepower 4100/9300 シャーシの論理デバイスとプラットフォーム構成設定を含む XML ファイルをリモート サーバまたはローカル コンピュータにエクスポートします。エクスポートは、毎日、毎週、または 2 週間ごとに実行されるようにスケジュールできます。設定のエクスポートは、スケジュールされたエクスポート機能がいつ有効になるかに基づき、スケジュールに従って実行されます。そのため、たとえば週ごとのスケジュールされたエクスポートが水曜日の午後 10 時に有効になる場合、システムは新しいエクスポートを水曜日の午後 10 時ごとに開始します。

エクスポート機能の使用に関する重要な情報については、「コンフィギュレーションのインポート/エクスポートについて」を参照してください。

手順

ステップ 1 **[System]** > **[Configuration]** > **[Export]** の順に選択します。

ステップ 2 [Schedule Export] をクリックします。
[Configure Scheduled Export] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 3 リモートサーバとの通信で使用するプロトコルを選択します。選択できるプロトコルは、FTP、TFTP、SCP、または SFTP のいずれかです。

ステップ 4 スケジュールされたエクスポートを有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。

（注） このチェックボックスを使用して、スケジュールされたエクスポートを後から有効または無効にできます。ただし、スケジュールされたエクスポートを有効または無効にするには、もう一度パスワードを指定する必要があります。

ステップ 5 バックアップ ファイルを格納する場所のホスト名または IP アドレスを入力します。サーバ、ストレージ アレイ、ローカル ドライブ、または Firepower 4100/9300 シャーシがネットワーク経由でアクセス可能な任意の読み取り/書き込みメディアなどを指定できます。

IP アドレスではなくホスト名を使用する場合、DNS サーバを設定する必要があります。

ステップ 6 デフォルト以外のポートを使用する場合は、[Port] フィールドにポート番号を入力します。

ステップ 7 リモートサーバにログインするためのユーザ名を入力します。プロトコルが TFTP の場合、このフィールドは適用されません。

ステップ 8 リモートサーバのユーザ名のパスワードを入力します。プロトコルが TFTP の場合、このフィールドは適用されません。

ステップ 9 [Location] フィールドに、ファイル名を含むコンフィギュレーション ファイルをエクスポートする場所のフル パスを入力します。ファイル名を省略すると、エクスポート手順によって、ファイルに名前が割り当てられます。

ステップ 10 設定を自動的にエクスポートするスケジュールを選択します。これは、[Daily]、[Weekly]、または [BiWeekly] のいずれかにできます。

ステップ 11 [OK] をクリックします。
スケジュールされたエクスポートが作成されます。スケジュールされたエクスポートを有効にすると、システムは、指定の場所に、選択したスケジュールに従ってコンフィギュレーション ファイルを自動的にエクスポートします。

設定エクスポート リマインダの設定

設定エクスポートが特定の日数実行されていないときにシステムにエラーを生成させるには、エクスポート リマインダ機能を使用します。

手順

ステップ 1 **[System]** > **[Configuration]** > **[Export]** の順に選択します。

ステップ 2 設定エクスポート リマインダを有効にするには、[Reminder to trigger an export] の下のチェックボックスをオンにします。

ステップ 3 最後に設定エクスポートが実行されてからリマインダエラーを生成するまでシステムが待機する期間を、1 ～ 365 の範囲の日数で入力します。

ステップ 4 [Save Reminder] をクリックします。

コンフィギュレーション ファイルのインポート

設定のインポート機能を使用して、Firepower 4100/9300 シャーシからエクスポートした構成設定を適用できます。この機能を使用して、既知の良好な構成に戻したり、システム障害を解決したりできます。インポート機能の使用に関する重要な情報については、「コンフィギュレーションのインポート/エクスポートについて」を参照してください。

手順

ステップ 1 **[System]** > **[Configuration]** > **[Import]** の順に選択します。

ステップ 2 ローカルのコンフィギュレーション ファイルからインポートする場合は、次の操作を行います。

a) [Choose File] をクリックし、インポートするコンフィギュレーション ファイルを選択します。

b) [Import] をクリックします。
操作の続行を確認するダイアログボックスが開き、シャーシの再起動についての警告が表示されます。

c) [Yes] をクリックして、指定したコンフィギュレーション ファイルをインポートします。
既存の設定が削除され、インポートしたファイルの設定が Firepower 4100/9300 シャーシに適用されます。インポート中にブレークアウト ポートの設定が変更された場合は、Firepower 4100/9300 シャーシの再起動が必要になります。

ステップ 3 設定済みのリモート サーバからコンフィギュレーション ファイルをインポートする場合は、次の操作を行います。

a) リモート インポート テーブルで、使用するリモート構成の [Import] をクリックします。
操作の続行を確認するダイアログボックスが開き、シャーシの再起動についての警告が表示されます。

b) [Yes] をクリックして、指定したコンフィギュレーション ファイルをインポートします。
既存の設定が削除され、インポートしたファイルの設定が Firepower 4100/9300 シャーシに適用されます。インポート中にブレークアウト ポートの設定が変更された場合は、Firepower 4100/9300 シャーシの再起動が必要になります。

ステップ 4 新しいリモート サーバからコンフィギュレーション ファイルをインポートする場合は、次の操作を行います。

a) [Remote Import] の下にある [Add Remote Configuration] をクリックします。

b) リモート サーバとの通信で使用するプロトコルを選択します。選択できるプロトコルは、FTP、TFTP、SCP、または SFTP のいずれかです。

c) デフォルト以外のポートを使用する場合は、[Port] フィールドにポート番号を入力します。

d) バックアップ ファイルが格納されている場所のホスト名または IP アドレスを入力します。サーバ、ストレージアレイ、ローカル ドライブ、または Firepower 4100/9300 シャーシがネットワーク経由でアクセス可能な任意の読み取り/書き込みメディアなどを指定できます。

IP アドレスではなくホスト名を使用する場合、DNS サーバを設定する必要があります。

e) リモート サーバにログインするためのユーザ名を入力します。プロトコルが TFTP の場合、このフィールドは適用されません。

f) リモート サーバのユーザ名のパスワードを入力します。プロトコルが TFTP の場合、このフィールドは適用されません。

g) [File Path] フィールドに、コンフィギュレーション ファイルのフル パスをファイル名を含めて入力します。

h) **[Save]** をクリックします。
リモート構成がリモート インポート テーブルに追加されます。

i) 使用するリモート構成の [Import] をクリックします。
操作の続行を確認するダイアログボックスが開き、シャーシの再起動についての警告が表示されます。

j) [Yes] をクリックして、指定したコンフィギュレーション ファイルをインポートします。
既存の設定が削除され、インポートしたファイルの設定が Firepower 4100/9300 シャーシに適用されます。インポート中にブレークアウト ポートの設定が変更された場合は、Firepower 4100/9300 シャーシの再起動が必要になります。